

令和 7 年度 事業報告書

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日



公益財団法人 日本国際教育支援協会
Japan Educational Exchanges and Services

目 次

○ 公益目的事業

I. 日本人学生及び外国人留学生等の修学・生活支援事業……………	1
1. J E E S 奨学金……………	1
2. 冠奨学金……………	2
3. 国際教育支援プログラム……………	6
II. 外国人留学生等の民間宿舎入居促進のための補償事業……………	7
III. 外国人の日本語能力及び日本語教育の水準向上のための事業……	8
1. 日本語能力試験……………	8
2. 日本語教育能力検定試験……………	9
3. 日本語教育の振興に係る奨励金等……………	9
IV. 日本学生支援機構が行う学資の貸与に係る保証事業……………	1 0

○ 収益事業

I. 学生の教育研究活動における災害補償事業……………	1 2
II. 所有している土地等の貸付事業……………	1 3

○ 法人の運営体制の充実を図るための取り組み …………… 1 3

<附属明細書について>

事業における重要な事項は本事業報告書に記載されており、「一般社団及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は作成していない。

令和7年度（公財）日本国際教育支援協会 事業報告書

本協会の目的を達成するため、日本人学生及び外国人留学生等に対する修学・生活支援事業、外国人の日本語能力及び日本語教育の水準向上のための事業、日本学生支援機構が行う学資の貸与に係る保証に関する次の諸事業を行った。

なお、本事業報告にかかる決算額は、事業内容の詳細説明及び前年度比較のため「収支計算書（収支資金ベース）」（P. 28～P. 31）に拠っており、令和7年度は44,007,937千円の事業活動収入により、下記の事業活動支出額となった。

○ 公益目的事業	令和7年度決算額	42,301,611 千円
	（前年度決算額）	40,293,205 千円）
Ⅰ 日本人学生及び外国人留学生等の修学・生活支援事業	令和7年度決算額	719,741 千円
	（前年度決算額）	732,469 千円）

1. J E E S 奨学金

企業・団体・個人から寄せられた寄付金に加え、本協会他事業からの繰入等によって、学生の修学等を支援するための奨学金の給付を行った。

No.	名 称	給 付 対 象	給 付 内 容	給付人数	応 募 条 件 等
1	留学生奨学金(修学)	学部生 大学院生 高等専門学校生 (4年次以上)	奨学金月額:40,000 円	169 人 (160 人)	私費外国人留学生 学業成績優秀者 在籍校からの推薦
2	留学生奨学金 (少数受入国)	学部生 大学院生	奨学金月額:50,000 円	31 人 (30 人)	日本への留学生が少ない国出身 の私費外国人留学生及び特別 な支援が必要と判断する国・ 地域の出身者 在籍校からの推薦
3	ユネスコ研修プログラム奨学金	大学院生	奨学金月額:100,000 円 渡航準備金: 150,000 円(アジア地域) 250,000 円(その他地域)	16 人 (8 人)	ユネスコ研修プログラムに参加する日本人学生 ユネスコによるユニツイン・ユネスコチェア認定大学からの推薦
4	日本語修学支援奨学金 ※	短期大学生 学部生 大学院生	奨学金月額:50,000 円	170 人 (81 人)	私費外国人留学生 日本語能力試験N1・N2 合格者のうち、成績優秀者 在籍校からの推薦
5	日本語教育普及奨学金 ※	短期大学生 学部生 大学院生	奨学金月額:50,000 円	31 人 (26 人)	日本人学生及び私費外国人留学生 日本語教育能力検定試験合格者 日本語指導者を目指す者 在籍校からの推薦
計 5 件				417 人 (305 人)	

※ 事業区分は「日本語教育の振興に係る奨励金等」

(給付人数の括弧内は前年度実績)

2. 冠奨学金

企業・団体・個人から寄付を募り、寄付者の名称を冠した「冠奨学金」として、留学生及び日本人学生の修学等を支援するための奨学金の給付を行った。

No.	名 称	給 付 対 象	給 付 内 容	給付人数	応 募 条 件 等
1	JEES・神内留学生奨学金	大学院生	奨学金月額：100,000 円 120,000 円 (JLPT N1 の合格者)	6 人 (4 人)	私費外国人留学生 指定校からの推薦
2	JEES・飯田留学生奨学金	大学院生等	奨学金月額：100,000 円 渡 航 費：150,000 円	3 人 (7 人)	インドネシア出身者で指定校において短期研修を行う者 指定校からの推薦 (令和7年度で終了)
3	JEES・藤光樹脂留学生奨学金	学部生 大学院生	奨学金月額： 80,000 円	1 人 (1 人)	環境分野を専攻する私費外国人留学生 指定校からの推薦
4	三菱商事留学生奨学金	大学院生	奨学金月額：150,000 円	6 人 (28 人)	私費外国人留学生 指定校からの推薦 (令和7年度で終了)
5	JEES・ローソン外国人留学生奨学金	学部生 日本語学校生	奨学金月額：130,000 円	－ (－)	ベトナム出身の私費外国人留学生 指定校からの推薦 (令和7年度は募集休止)
6	JEES・豊田通商留学生奨学金	学部生 大学院生	奨学金月額：100,000 円	25 人 (25 人)	私費外国人留学生 指定校からの推薦
7	JEES・中栄奨学会・ 日本紙パルプ商事奨学金	学部生	奨学金月額： 50,000 円	12 人 (12 人)	日本人学生 指定校からの推薦
8	JEES・石橋財団奨学金	(受入) 大学院生	奨学金月額：150,000 円	6 人 (1 人)	美術史専攻の私費外国人留学生 指定校からの推薦
		(派遣) 大学院生	奨学金月額：200,000 円	2 人 (4 人)	美術史専攻の日本人学生 指定校からの推薦
9	JEES・牧田甚一国際奨学基金	学部生 大学院生	奨学金月額：100,000 円	15 人 (20 人)	私費外国人留学生 指定校からの推薦
10	JEES・馬場財団国際理解教育 人材養成奨学金	学部生 大学院生	奨学金月額：100,000 円 留学準備金： 150,000 円(アジア地域) 250,000 円(その他地域)	12 人 (12 人)	海外留学予定の日本人学生 指定校からの推薦
11	JEES・呉羽育英会(東洋紡) 奨学金	学部生 大学院生	奨学金月額： 20,000 円	11 人 (12 人)	経済的な理由により就学困難な 日本人学生 指定校からの推薦

No.	名 称	給 付 対 象	給 付 内 容	給付人数	応 募 条 件 等
12	JEES・太平洋セメント奨学金	学部生	奨学金月額： 50,000 円	22 人 (22 人)	経済的な理由により就学困難な 日本人学生 指定校からの推薦
13	生命保険協会留学生奨学金 (セイホスカラーシップ)	学部生 大学院生	奨学金月額： 100,000 円	15 人 (16 人)	アジア地域出身の私費外国人留学生 金融業界、特に生命保険に関心のある者 指定校からの推薦
14	住友商事交換留学生奨学金	学部生	奨学金月額： 100,000 円	20 人 (18 人)	大学間学生交流協定に基づき日本へ 留学する中国出身者 指定校からの推薦
15	JEES・学研災グローバル 人材育成奨学金	学部生 大学院生	奨学金月額： 100,000 円 航空費(留学地域毎の支給 限度額あり)	4 人 (4 人)	海外へ留学する日本人学生 指定校からの推薦
16	JEES・MHI みらい奨学金	大学院生	奨学金月額： 120,000 円	6 人 (6 人)	化学、機械、電気・電子等の理工系 分野を専攻する女子学生 日本人学生又は私費外国人留学生 指定校からの推薦
17	日本の翼 育英奨学金	学部生	訓 練 費：5,000,000 円 (パイロット養成の各課程 修了時に3分割で給付)	－ (－)	国内私立大学のパイロット養成課程に 在籍する日本人学生 指定校からの推薦 (令和7年度は募集休止)
18	JEES・昭和化工奨学金	学部生	奨学金月額： 50,000 円 一 時 金： 100,000 円	1 人 (1 人)	工学系化学分野を専攻する日本人 学生 指定校からの推薦
19	MHI ベトナム奨学金	学部生	奨学金月額：130,000 円	5 人 (10 人)	ベトナム出身の私費外国人留学生 指定校からの推薦 (令和3年度で募集終了。継続分 のみ給付)
20	JEES・T. パナージインド 留学生奨学金	学部生 大学院生	奨学金月額： 100,000 円	12 人 (14 人)	インド出身の私費外国人留学生 指定校からの推薦
21	井内ミャンマー留学生奨学金	学部生	奨学金月額： 110,000 円 学費実費	22 人 (18 人)	ミャンマー出身の私費外国人留学生 指定校からの推薦
22	住友商事オマーン国留学生 奨学金	大学院生	奨学金月額： 152,000 円	4 人 (4 人)	オマーン出身の私費外国人留学生 指定校からの推薦
23	大成建設外国人留学生奨学金	学部生 大学院生	奨学金月額： 150,000 円	9 人 (9 人)	建築・土木等の分野を専攻する ベトナム、インドネシア、タイ、 フィリピン、マレーシア、ミャンマー 出身の私費外国人留学生 指定校からの推薦

No.	名 称	給 付 対 象	給 付 内 容	給付人数	応 募 条 件 等
24	JEES・仙石知子 SEWS 奨学金	学部生	奨学金月額： 50,000 円	7 人 (4 人)	高い英語能力を有する日本人学生 中京地区(愛知県、岐阜県、三重県) の高等学校を卒業した者 指定校からの推薦
25	Sun&Sun 総合保険奨学金	学部生	奨学金月額： 30,000 円	9 人 (4 人)	日本人学生 静岡県内の指定校からの推薦
26	JEES・ENEOS Xplora インドネシア留学生奨学金	大学院生	奨学金月額： 80,000 円 一 時 金： 200,000 円	4 人 (3 人)	理学・工学系分野を専攻しインド ネシア国籍を有する私費外国人留 学生 指定校からの推薦
27	JEES・JRA 獣医学生奨学金	学部生	奨学金月額： 50,000 円	68 人 (66 人)	競走馬の獣医師を志す日本人学生 指定校からの推薦
28	JEES・出光興産(潤滑技術) 奨学金	大学院生	奨学金月額： 80,000 円	4 人 (4 人)	工学系分野を専攻する日本人学生 指定校からの推薦
29	JEES・青木建設国際奨学金	大学院生	奨学金月額： 100,000 円	11 人 (9 人)	私費外国人留学生 指定校からの推薦
30	JEES・神内国際理解奨学金	学部生 大学院生	奨学金月額： 50,000 円	12 人 (19 人)	国際理解教育活動に興味・参加意思の ある私費外国人留学生 指定校からの推薦
31	JEES・国際ソロプチミスト 東京-東奨学金	学部生 大学院生	奨学金月額： 30,000 円	2 人 (3 人)	医学、看護学、社会福祉系分野の いずれかの国家資格の取得を目指 す日本人女子学生 指定校からの推薦
32	JEES・月島ホールディングス 人材育成奨学金	大学院生	奨学金月額： 100,000 円	3 人 (3 人)	工学を専攻する日本人学生 指定校からの推薦
33	JEES・三井不動産奨学金	学部生 大学院生	奨学金月額： 150,000 円	4 人 (8 人)	アジア地域出身の私費外国人留学生 指定校からの推薦 (令和 7 年度で終了)
34	JEES・ジョンソンコントロールズ 高専生奨学金	高等専門学校生 (4 年次以上)	奨学金月額： 50,000 円	4 人 (4 人)	日本人学生又は私費外国人留学生 指定校からの推薦
35	JEES・三菱商事科学技術学生 奨学金	大学院生	奨学金月額： 100,000 円 一 時 金： 100,000 円	29 人 (22 人)	理系分野を専攻する日本人学生 指定校からの推薦
36	JEES・オカムラ次世代育成 奨学金	学部生	奨学金月額： 150,000 円	12 人 (12 人)	デザイン分野を専攻する日本人学生 指定校からの推薦
37	JEES・田辺ファーマ医学・ 薬学奨学金	学部生	奨学金月額： 150,000 円	29 人 (20 人)	医学又は薬学を専攻する日本人学 生又は私費外国人留学生 指定校からの推薦 (令和 7 年度で募集終了。継続分 のみ給付)

No.	名 称	給 付 対 象	給 付 内 容	給付人数	応 募 条 件 等
38	JEES・住友金属鉱山地域貢献奨学金	学部生 高等専門学校生 (4年次以上) 大学院生	奨学金月額：100,000 円	58 人 (39 人)	地域貢献を志す日本人学生 指定校からの推薦
39	JEES・アイ・システム女性デジタル人材育成奨学金	大学院生	奨学金月額：100,000 円	2 人 (-)	情報処理及びこれに関連する分野 を専攻する日本人女子学生 指定校からの推薦
40	JEES・東ソー人材育成奨学金	学部生 大学院生	奨学金月額：100,000 円	— (-)	日本人学生 指定校からの推薦 (令和8年度から実施)
41	JEES・安嶋みらい支援奨学金	学部生	奨学金月額：100,000 円	— (-)	日本人学生 指定校からの推薦 (令和8年度から実施)
42	JEES・三井住友フィナンシャルグループ・インド共和国留学生奨学金	学部生	奨学金月額：120,000 円	— (-)	インド出身の私費外国人留学生 指定校からの推薦 (令和8年度から実施)
計 39 件				477 人 (487 人)	

(太枠は令和7年度に新規設立した冠奨学金。給付人数の括弧内は前年度実績。なお、計には前年度終了した冠奨学金の給付人数も含む。)

3. 国際教育支援プログラム

(1) 文化理解促進事業

文化理解促進のため、外国人留学生を対象に以下の事業を実施した。

実 施 日	内 容	参加者数
令和7年6月29日	スタディーツアー（旧安田楠雄邸庭園） 東京都指定名勝の大正時代の貴重な邸宅・庭園の保存・活用についての学習及び保存活動の体験	20人
令和7年9月23日	外国人留学生のための能楽鑑賞・体験教室 国立能楽堂にて狂言「鴈 がんづぶて 磔」・能「清経 きよつね 」の鑑賞と能楽の謡と構え（すり足）の体験	60人
令和8年2月1日	スタディーツアー（本所防災館・本所消防署） 自然災害等の防災体験と消防署見学	13人
令和8年3月8日	スタディーツアー（東洋文庫ミュージアム・六義園） 東洋学研究図書館にて、古文書・古記録などの文化財についての学習及び展示の見学 庭園ガイドの解説により六義園を見学	18人

(2) 軽井沢セミナーハウス

外国人留学生等の交流の場として、軽井沢セミナーハウスの提供を行った。

利用期間	延べ利用数 (泊数)
令和7年7月1日～9月30日	64 (60)

(延べ利用数の括弧内は前年度実績)

(3) 「日本留学フェア」への参加

独立行政法人日本学生支援機構主催の「日本留学フェア」へ参加した。

開 催 地		開 催 日
韓国	釜山	令和7年8月23日
	ソウル	令和7年8月24日
タイ	チェンマイ	令和7年9月6日
	バンコク	令和7年9月7日
台湾	台北	令和7年9月20日
		令和7年9月21日
インドネシア	スラバヤ	令和7年11月22日
	ジャカルタ	令和7年11月23日
マレーシア	クアラルンプール	令和8年1月24日
		令和8年1月25日

Ⅱ 外国人留学生等の民間宿舎入居促進のための 補償事業（留学生住宅総合補償）

令和7年度決算額	52,915 千円
(前年度決算額)	52,151 千円)

外国人留学生が民間宿舎等への入居に際し、保証人を探す困難さと保証人の精神的・経済的負担を軽減し、円滑な入居を支援することを目的として、海外旅行保険及び保証人補償基金から構成される「留学生住宅総合補償」事業を実施。留学生の借用戶室の失火、水漏れ事故等による他人に対する損害賠償の補償と家賃未払・原状回復費用の弁済により被害を被った連帯保証人に対する補償を行った。

令和7年度の新規加入者数は、大規模大学において留学生宿舎の整備・拡充による保証人不要物件の増や家賃保証会社への移行等があり、前年度より約1千人減となった。

なお、本事業について、制度理解及び加入促進のための説明会を9月末から10月の間、全国8ブロックにおいて開催した。

新規 加入者数 (人)	内 訳	保険料及び 補償基金加入金 (円)	保 険 金 及 び 補 償 金 支 払	
			支払件数 (件)	支払金額 (円)
5,367 (6,365)	海 外 旅 行 保 険	16,740,000 (20,170,000)	16 (13)	4,760,652 (19,324,051)
	保 証 人 補 償 基 金	10,456,500 (12,049,500)	11 (17)	1,110,371 (1,727,864)
	計	27,196,500 (32,219,500)	—	5,871,023 (21,051,915)

(括弧内は前年度実績)

Ⅲ 外国人の日本語能力及び日本語教育の 水準向上のための事業

令和7年度決算額 5,238,028 千円
(前年度決算額 5,033,942 千円)

1. 日本語能力試験

日本語を母語としない者を対象に、日本語能力を難易度によりN1からN5の5段階に分け測定し、認定することを目的とした試験を以下のとおり実施した。実施にあたっては、日本国内は本協会、海外は国際交流基金が担当している。

試験は7月及び12月の年2回実施。国内実施分の年間応募者数は、過去最多の79万9,055人（前年度比22.9%増）となった。国際交流基金が行っている海外実施分を合わせた年間応募者数は、過去最多の194万852人（前年度比12.9%増）となった。

令和7年度より、不正行為対策の一環として、試験を午前（N1、N2）・午後（N3、N4、N5）の二部制で実施した。試験会場については、準備のための前日借用、当日の試験時間の延長により会場確保は困難を極めたが、必要会場数を確保した。

区 分	試 験 会 場	応募者数 (人)	受験者数 (人)	認定者数 (人)
第1回 令和7年7月6日(日)	全国47都道府県249会場	351,770 (287,558)	324,766 (265,848)	108,862 (100,284)
第2回 令和7年12月7日(日)	全国47都道府県304会場	447,285 (362,470)	402,228 (333,983)	111,091 (102,924)
計		799,055 (650,028)	726,994 (599,831)	219,953 (203,208)

(括弧内は前年度実績)

応募者数の内訳

(人)					
N1	N2	N3	N4	N5	計
114,863 (110,697)	229,320 (175,194)	272,317 (206,191)	172,085 (147,848)	10,470 (10,098)	799,055 (650,028)

(括弧内は前年度実績)

2. 日本語教育能力検定試験

日本語学習者の多様なニーズに応じた日本語教育を行おうとする者を対象として、日本語教育の実践につながる体系的な知識が基礎的な水準に達しているかどうか、状況に応じてそれらの知識を関連づけ多様な現場に対応する能力が基礎的な水準に達しているかどうかを検定するための試験を実施した。

令和6年度から認定日本語教員試験の影響を受け、令和7年度は前年度比約1,700人減の応募者数となったものの、引き続き多様な受験目的での応募者があった。

実施日：令和7年10月26日（日）

試験会場	応募者数 (人)	受験者数 (人)	合格者数 (人)
全国7都道府県7会場	2,413 (4,196)	1,958 (3,385)	579 (1,045)

(括弧内は前年度実績)

3. 日本語教育の振興に係る奨励金等

日本語能力試験N1・N2の合格者及び日本語教育能力検定試験合格者のうち、成績優秀者に対し、奨学金の給付を行った。

区分	対象	給付内容	給付人数	応募条件等
日本語修学支援奨学金	短期大学生 学部生 大学院生	奨学金月額:50,000円	170人 (81人)	私費外国人留学生 日本語能力試験N1・N2合格者のうち、成績優秀者 在籍校からの推薦
日本語教育普及奨学金	短期大学生 学部生 大学院生	奨学金月額:50,000円	31人 (26人)	日本人学生及び私費外国人留学生 日本語教育能力検定試験合格者 日本語指導者を目指す者 在籍校からの推薦

※ JEES 奨学金の一部として実施（再掲）

(給付人数の括弧内は前年度実績)

学生が高等教育機関で学ぶことを支援するため、日本学生支援機構が実施する奨学金の貸与を受ける際、一定の保証料の支払を受け、同奨学金の貸与及び返還の保証事業を実施した。

平成29年度以降、単年度収支において代位弁済額が徴収保証料を上回る状況だが、累積徴収保証料等により当面の事業に支障はないものの、中長期的に事業収支の適正化を図るため、保証料の見直しや代位弁済抑制策など具体的な対応策を、文部科学省及び日本学生支援機構と協議の予定。

①新規加入状況

機関保証選択率は56.1%と前年度に比して増減なし。新規加入件数も前年度同程度の22万8千件。

機関保証選択率	56.1% (56.1%)
新規加入件数	228,019 件 (226,319 件)

(括弧内は前年度実績)

②保証料徴収状況

徴収保証料は、新規選択率および新規加入件数が前年度同程度であったことから、前年度比1億円増の199億円。

対象件数	586,436 件 (592,461 件)
徴収保証料	19,971,690,652 円 (19,891,376,833 円)

(括弧内は前年度実績)

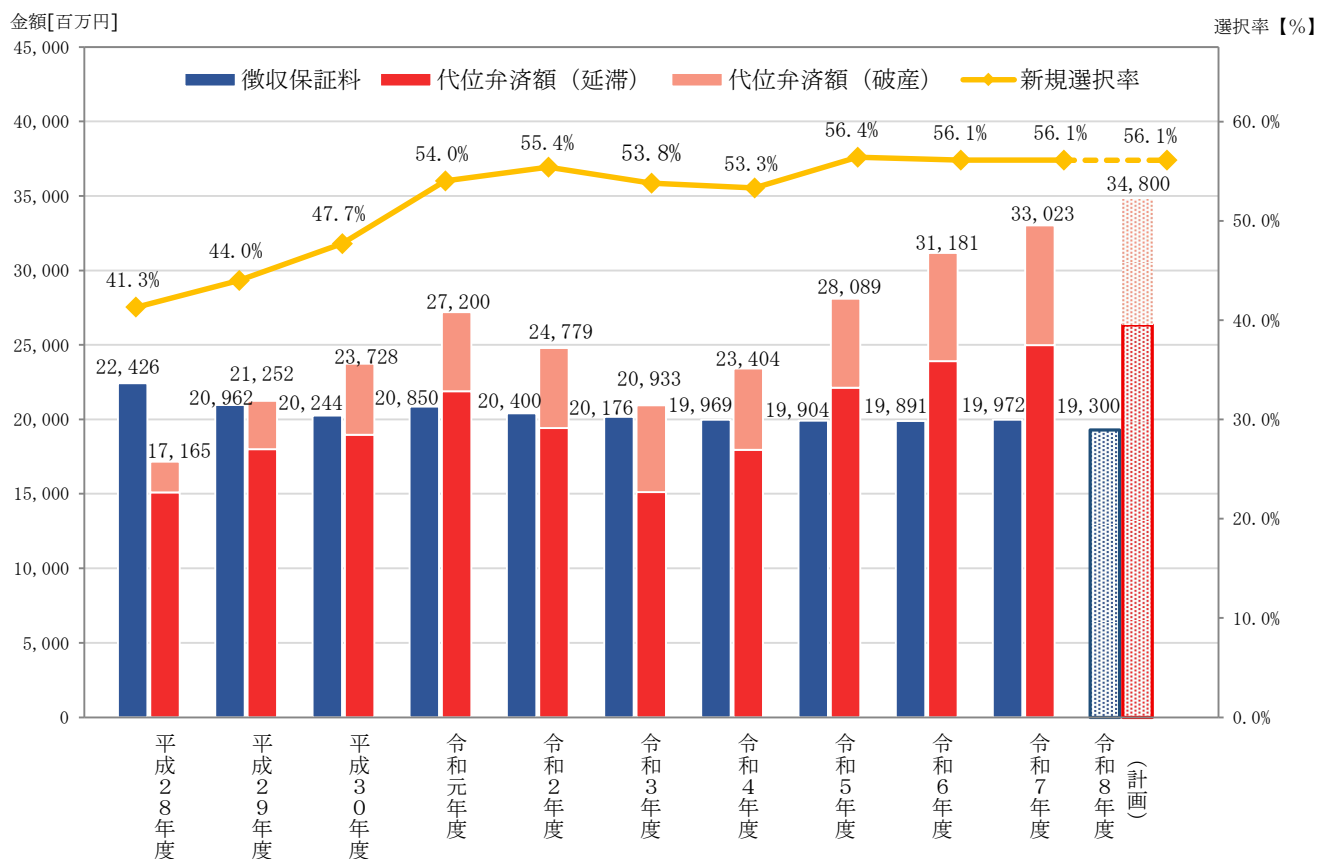
③代位弁済状況

代位弁済額は、経済状況の悪化の影響等による延滞及び自己破産の増加により、対前年度比18億円増の330億円。

代位弁済件数	18,826 件 (17,460 件)
代位弁済額	33,023,174,152 円 (31,181,155,720 円)

(括弧内は前年度実績)

【参考】徴収保証料・代位弁済額・新規選択率の年度別推移



(上記選択率は1種・2種の合計。)

○ 収益事業		令和7年度決算額 7,181,754 千円 (前年度決算額 6,849,173 千円)
I 学生の教育研究活動における災害補償事業 (学生教育研究災害傷害保険)		令和7年度決算額 7,167,710 千円 (前年度決算額 6,836,268 千円)

全国の大学及び高等専門学校等の賛助会員校 1,071 校（全国大学等の約 9 割）の協力の下に、加入学生 285 万人（全国の大学生等の 85%）が教育研究活動中に被った災害に対して、必要な給付を行う補償事業を実施した。

令和7年度は、保険説明会や個別相談等をとおり、制度や保険に付帯するサービスの周知を図ったことにより、学研災及び付帯保険において新規加入者が増加した。

また、本事業の制度理解及び加入促進のための説明会を9月末から10月の間、全国8ブロックにおいて開催し、令和7年度からは大学等の安全管理に資するため事故事例等の詳細について説明を行った。

保 険 種 別		新規 加入者数 (人)	徴 収 保 険 料 (円)	保険金支払	
				支払件数 (件)	支払金額 (円)
学生教育研究災害傷害保険(略称：学研災) 国内外において教育研究活動中に被った災害に対する補償		1,084,243 (1,062,364)	2,155,257,380 (2,116,158,040)	18,140 (17,426)	928,345,030 (888,607,000)
学 研 災 付 帯 保 険	付帯賠償責任保険(略称：付帯賠償) 国内外において教育研究活動中に他人にケガを負わせたり、他人の財物を損壊したことによる法律上の損害賠償責任に対応した補償	910,309 (888,517)	615,209,380 (598,448,940)	476 (532)	100,077,367 (113,467,227)
	付帯学生生活総合保険(略称：付帯学総) 賠償責任保険及び教育研究活動内外での事故、病気の治療費等を含む24時間の補償	59,191 (56,082)	2,936,470,520 (2,760,797,260)	84,479 (82,268)	973,146,446 (916,533,959)
	外国人留学生向け付帯学生生活総合保険(略称：インバウンド付帯学総) 病気や救援者費用、賠償事故等に対する補償を留学期間に合わせて選択できる外国人留学生のための補償	22,195 (20,812)	228,392,610 (211,686,290)	1,617 (1,470)	38,847,933 (22,387,204)
	付帯海外留学保険(略称：付帯海学) 派遣留学中のケガや病気、賠償事故、携行品の損害、救援者費用等に対する補償	42,826 (38,463)	879,672,460 (826,552,050)	5,028 (4,722)	529,474,046 (457,280,084)
計			6,815,002,350 (6,513,642,580)	109,740 (106,418)	2,569,890,822 (2,398,275,474)

(括弧内は前年度実績)

Ⅱ 所有している土地等の貸付事業

令和7年度決算額 14,044 千円
(前年度決算額 12,904 千円)

所有している土地について、以下の用途で貸付を行った。

用 途	地 域
駐車場	仙台、京都、熊本

○ 法人の運営体制の充実を図るための取り組み

令和7年度に施行された「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」第21条4項及び「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則」第53条に基づき、「各事業年度における公益目的事業の実施状況」に加え「当該公益法人の運営体制の充実を図るための取組」を記載することとした。

1. 定款及び規程の改正

定款及び規程について新公益法人制度に沿ったものとなるよう改正を行い、令和7年度第2回定例理事会・評議員会（令和8年3月4日開催）において承認された。

2. 新公益法人会計基準への移行

令和7年度決算及び令和8年度予算において「公益法人会計基準」（令和6年12月 内閣府公益認定等委員会）へ移行した。

3. 理事・監事の選任

理事・監事の選任は評議員会において、親族その他の特殊の関係がある者の制限を遵守しており、外部理事及び外部監事を選任している。

4. 評議員選定委員会の設置

定款第13条に基づき、評議員の選任及び解任は、評議員選定委員会において行っている。

5. 監査体制

監事による業務監査、会計監査人による会計監査を実施し、監査報告書については理事会等で共有している。